



平成 29 年 3 月 23 日

各 位

会社名 株式会社 三 陽 商 会
代表者名 代表取締役社長兼社長執行役員
岩田 功
(コード番号:8011 東証第一部)
問合せ先 執行役員 経理財務本部 副本部長
兼経理部長
伊藤 六一
TEL (03)6380-0734

(訂正・数値データ訂正) 「平成 28 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 14 日に開示いたしました「平成 28 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容を一部訂正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所は下線で表示しております。また、財務諸表の数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信しております。

記

1. 訂正の理由

添付資料「1. 経営成績・財政状態に関する分析(2)財政状態に関する分析 ②キャッシュ・フローの状況」および「5. 連結財務諸表(4)連結キャッシュ・フロー計算書」に、一部記載内容に誤りがあったため訂正するものです。なお、当該訂正による連結経営成績および連結財政状態への影響はありません。

2. 訂正の内容

<添付資料 3 ページ>

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(2) 財政状態に関する分析

② キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の減少により19億4千9百万円増加しましたが、税金等調整前当期純損失を82億3千2百万円計上したことや、仕入債務が51億1千2百万円減少したこと等により、97億3千万円の支出(前連結会計年度は、32億3千7百万円の収入)となりました。

(中略)

ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額による収入10億円がありましたが、長期借入金の返済による支出14億円や、配当金の支払額10億5百万円があったこと等により、15億5百万円の支出(前連結会計年度は、37億8千7百万円の支出)となりました。

【訂正後】

イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の減少により19億4千9百万円増加しましたが、税金等調整前当期純損失を82億3千2百万円計上したことや、仕入債務が47億9千万円減少したこと等により、97億3千万円の支出(前連結会計年度は、32億3千7百万円の収入)となりました。

(中略)

ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額による収入10億円や、長期借入れによる収入10億円がありましたが、長期借入金の返済による支出24億円や、配当金の支払額10億5百万円があったこと等により、15億5百万円の支出(前連結会計年度は、37億8千7百万円の支出)となりました。

<添付資料 13~14ページ>

5. 連結財務諸表

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
仕入債務の増減額 (△は減少) (中略)	△1,883	△5,112
小計 (中略)	8,901	△8,964
ブランド変更費用の支払額 (中略)	△2,464	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)	3,237	△9,730
財務活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
長期借入金の返済による支出 (中略)	△2,650	△1,400
財務活動によるキャッシュ・フロー (以後省略)	△3,787	△1,505

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
仕入債務の増減額 (△は減少) (中略)	△1,883	△4,790
小計 (中略)	8,901	△8,642
ブランド変更費用の支払額 (中略)	△2,464	△321
営業活動によるキャッシュ・フロー (中略)	3,237	△9,730
財務活動によるキャッシュ・フロー (中略)		
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出 (中略)	△2,650	△2,400
財務活動によるキャッシュ・フロー (以後省略)	△3,787	△1,505

以上